

エコ通勤優良事業所の 認証を取得しませんか？

○エコ通勤とは

通勤手段をマイカーから環境負荷の少ない電車、バス、自転車、徒歩などへ利用転換することです。

○エコ通勤優良事業所認証制度とは

エコ通勤に関する意識が高く、エコ通勤に関する取り組みを自主的かつ積極的に推進している事業所を優良事業所として認証し、登録する制度です。

認証・登録する機関は、公共交通利用推進等マネジメント協議会です。有効期間は2年で、1年ごとに取組状況の報告を行い、2年分の報告内容により、有効期間を2年延長します。登録費用は無料です。

○認証を受けるメリットとは

認証制度ホームページ（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）などで、事業所名や取組内容が発表されます。

登録証が交付され、そのコピーやロゴマークが自社のホームページや印刷物などで自由に使用できます。

特に優秀な取り組みを行った事業所は、国土交通省大臣表彰に推薦されることがあります。

○認証を受けるには

所定の申請書に必要事項を記入の上、エコ通勤に関する取り組みを実施していることを証明する資料を添付し、中国運輸局交通環境部環境課に持参するか郵送してください。

（〒730-8544 広島市中区上八丁堀6番30号）

※ 申請書は認証制度ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/application.html>

問い合わせ

○国土交通省 総合政策局
公共交通政策部 交通計画課
☎03-5253-8111

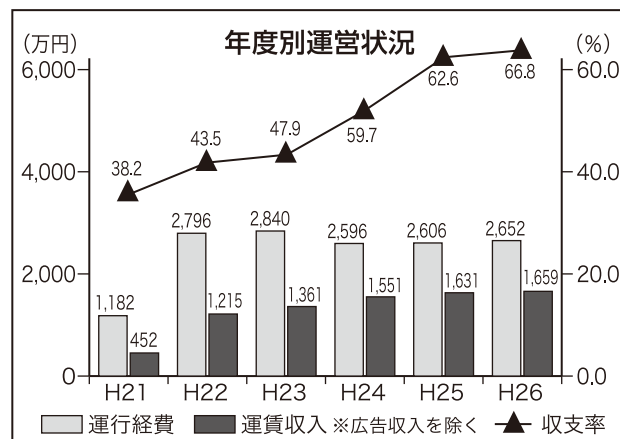
○公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
☎03-3221-7636

運営状況
下期の運賃収入（現金・回数券・定期券）は約914万円で、前年度下期と比べて約127万円増加しています。
一方、運行経費は燃料などの高騰により約1,326万円で前年度下期と比べて約23万円増加しています。収支率は68・9%で、前年度下期と比べて8・5%改善しています。

一方、運行経費は約2,652万円で、前年度と比べて約46万円増加しています。
収支率は66・8%となっており、前年度と比べて4・2%改善しています。
利用者数も収支率も増加傾向にあり、順調に推移しています。
引き続き、持続可能な公共交通とするため、利用促進やサービスの向上に努めていきます。皆さんのご利用をお願いします。

平成 25・26 年度 運営状況

期 別	平成 25 上期	平成 25 下期	平成 25 計
運行経費	1,303 万円	1,303 万円	2,606 万円
運賃収入	844 万円	787 万円	1,631 万円
経常損益	459 万円	516 万円	975 万円
収 支 率	64.8%	60.4%	62.6%
期 別	平成 26 上期	平成 26 下期	平成 26 計
運行経費	1,326 万円	1,326 万円	2,652 万円
運賃収入	857 万円	914 万円	1,771 万円
経常損益	468 万円	412 万円	881 万円
収 支 率	64.7%	68.9%	66.8%

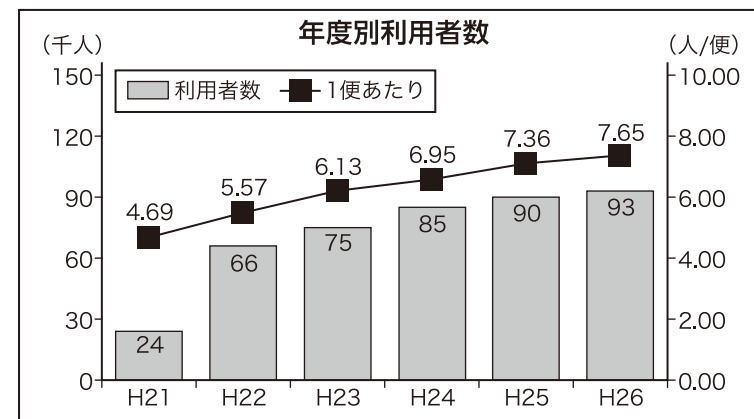


利用者数
下期の6カ月間で約4万6千人が利用。前年度下期と比べて約2,600人（6・1%）増加しています。
1日あたりの利用者数は253・6人、1便あたりの利用者数は7・6人で、前年度下期と比べて、それぞれ14・5人、0・49人増加しています。

平成 25・26 年度 利用者数 (人)

年 度 期 別	平成 25 年度		平成 26 年度	
	上 期	下 期	上 期	下 期
利 用 者 計	89,589		93,088	
	46,073	43,516	46,930	46,158
1 日あたり 平均利用者数	245.4		255	
	251.8	239.1	256.4	253.6
1 便あたり 平均利用者数	7.36		7.65	
	7.55	7.11	7.69	7.60

平成26年度全体の利用者数は、過去最高を記録した前年度の利用者数と比べて約3,500人（3・9%）増加しています。



※ H21年10月26日運行開始。



“おおたけ” PR キャラクター
コイちゃん

平成 25・26 年度 曜日・祝日別 利用状況 (人 / 日)

	月	火	水	木	金	土	日	祝日
平成 25	7.71	8.04	7.71	7.42	8.57	7.08	5.57	5.16
平成 26	8.06	8.34	8.23	7.85	8.87	6.77	6.02	5.20

※ 土・日曜日が祝日の場合は祝日に計上。

曜日ごとの1便あたりの利用者数を見ると、平日は全て前年度より増加し、木曜日以外は8人を超えています。休日は土曜日の利用者が前年度より減少していますが、休日全体では6・16人から6・22人へと増加しています。



こいこいバス 年間9万人突破

問い合わせ 地域公共交通活性化協議会（自治振興課内） ☎ 2142